

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月22日

計画の名称	茅ヶ崎市における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	茅ヶ崎市												
計画の目標	下水道の整備及び改築更新を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,427	A	3,427	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を49.5%（H28）から50.0%（R02）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 / 浸水対策を実施すべき面積（2270.39ha）	49%	49%	50%
2	重要な管渠の地震対策実施率を30%（H28）から53%（R02）に増加させる。 重要な管渠の地震対策実施率 総合地震対策の対象管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長 / 対象管渠の延長（4.6km）	30%	50%	53%
3	重要なポンプ場の機器更新実施率を0%（H28）から100%（R02）に増加させる。 重要なポンプ場の機器更新実施率 標準耐用年数を経過したポンプ機器のうち、更新が行われている機器数 / 対象機器数1	0%	75%	100%
4	重要なポンプ場の地震対策実施率を50%（H28）から100%（R02）に増加させる。 重要なポンプ場の地震対策実施率 総合地震対策の対象ポンプ場のうち、耐震化または減災対策が行われている施設（箇所） / 対象施設（3箇所）	50%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
平成28年度及び平成29年度については通常の整備計画で事業を実施し、平成30年度からは重点計画へと移行した。当初一つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事業評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	管渠(雨水)	新設	市内雨水管渠整備(浸水対策)	11ha	茅ヶ崎市						2,396		-	
		平成28、29年度は既計画で実施																		
	A07-002	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	管渠(合流)	改築	東海岸/中海岸/松が丘・浜須賀(総合地震対策)	L=2.3km/L=2.3km/詳細設計、マンホール浮上防止	茅ヶ崎市						128		策定済	
		総合地震対策 平成28、29年度は既計画で実施																		
	A07-003	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	ポンプ場	改築	柳島ポンプ場(雨水)(機器更新)	機器更新	茅ヶ崎市						791		策定済	
	長寿命化 平成28、29年度は既計画で実施																			
A07-004	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	ポンプ場	改築	中島ポンプ場(雨水)(総合地震対策)	耐震診断	茅ヶ崎市						106		策定済		
	総合地震対策																			
A07-005	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	管渠(雨水)	新設	萩園樋管(流向計等)(浸水対策)	流向計及び遠方監視装置設置	茅ヶ崎市						6		-		
											小計						3,427			
											合計						3,427			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等で構成された茅ヶ崎市下水道運営審議会で、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施した。	令和5年3月
	公表の方法
	ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水枝線及び雨水ポンプ場の整備により、浸水対策が必要な地区の縮小が図られた。 重要な管渠の耐震化工事により、地震対策が図られた。 重要なポンプ場の機器更新により、長寿命化が図られた。 重要なポンプ場の耐震化工事により、耐震化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
浸水対策が必要な地区の縮小を図るため、雨水枝線及び雨水ポンプ場等の整備を継続していく。 重要な管渠の耐震化のため、今後も耐震化工事を継続していく。 重要なポンプ場の長寿命化のため、今後も機器更新を継続していく。 重要なポンプ場の耐震化のため、今後も耐震化工事を継続していく。 茅ヶ崎市における循環のみちの実現（防災・安全）で実施した平成28年度及び平成29年度の事業を一体的に評価した。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値 50%	令和2年度末の最終目標値50%に対して、最終実績値は50%であり、目標を達成した。
最終実績値 50%		
2	重要な管渠の地震対策実施率	
	最終目標値 53%	令和2年度末の最終目標値53%に対して、最終実績値は73%であり、目標を達成した。
最終実績値 73%		
3	重要なポンプ場の機器更新実施率	
	最終目標値 100%	令和2年度末の最終目標値100%に対して、最終実績値は100%であり、目標を達成した。
最終実績値 100%		
4	重要なポンプ場の地震対策実施率	
	最終目標値 100%	地震対策については、今宿ポンプ場、柳島ポンプ場、中島ポンプ場の3箇所のうち、今宿ポンプ場と柳島ポンプ場の2箇所の耐震化が完了した。よって、最終目標値100%に対して、最終実績値は66%と下回ったが、残る中島ポンプ場の耐震診断は完了した。
最終実績値 66%		